

講習の名称	【選択】ワークショップ型社会科で「深い学び」をつくる
講習の概要	「深い学び」とは、問題解決の文脈で学習者が知識を関連付け、新たな意味付けを生み出すことである。本講習では、ワークショップ型社会科を扱う。この授業システムは、子どもが自立的に知識を構造化するのを促す有力な手立ての1つである。なぜなら、学習者が試行錯誤する活動（思考）空間を設け、活動後に必ず「ふり返し」を書いて自分の言葉で思考を表現することを重視するからである。本講座では、受講者の授業レパトリーを拡充することを目的としたい。
担当講師	江間 史明（大学院教育実践研究科担当教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 8 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	基盤教育 1 号館 2 階 123 教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭，中学校教諭（社会）
受講予定人数	39 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	持ち物：ノート、筆記用具、 学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編（小学校もしくは中学校のいずれか） 教科書：『小学校社会 活用力を育てる授業』江間史明編集、図書文化、2200 円＋税 教科書は、各自購入の上、講習時にお持ち下さい。講習で使用します。 講習前に、理論編を一読しておくこと講義の理解がすすみます。
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②テストの得点が 60 点以上であること テストは論述式で、講習の最後に行う。
評価の観点	講習の内容をもとに、資質・能力ベースの社会科カリキュラムについて理解し、ワークショップ型授業のメリットとデメリットを自己の実践に即して説明できること。
その他特記事項	ワークショップ型授業の模擬体験や授業プランの開発を講習で行う。